

第11回 PSアワード 製品安全対策優良企業表彰 応募説明会・個別相談会

制度の概要と応募方法等について

製品の安全のことを、ただひたすら真っすぐに。
あなたの熱意をご紹介ください。



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

目 次

1. 表彰事業の概要
2. 審査の概要
3. 応募・受賞のメリット等
4. 質疑応答

1. 表彰事業の概要

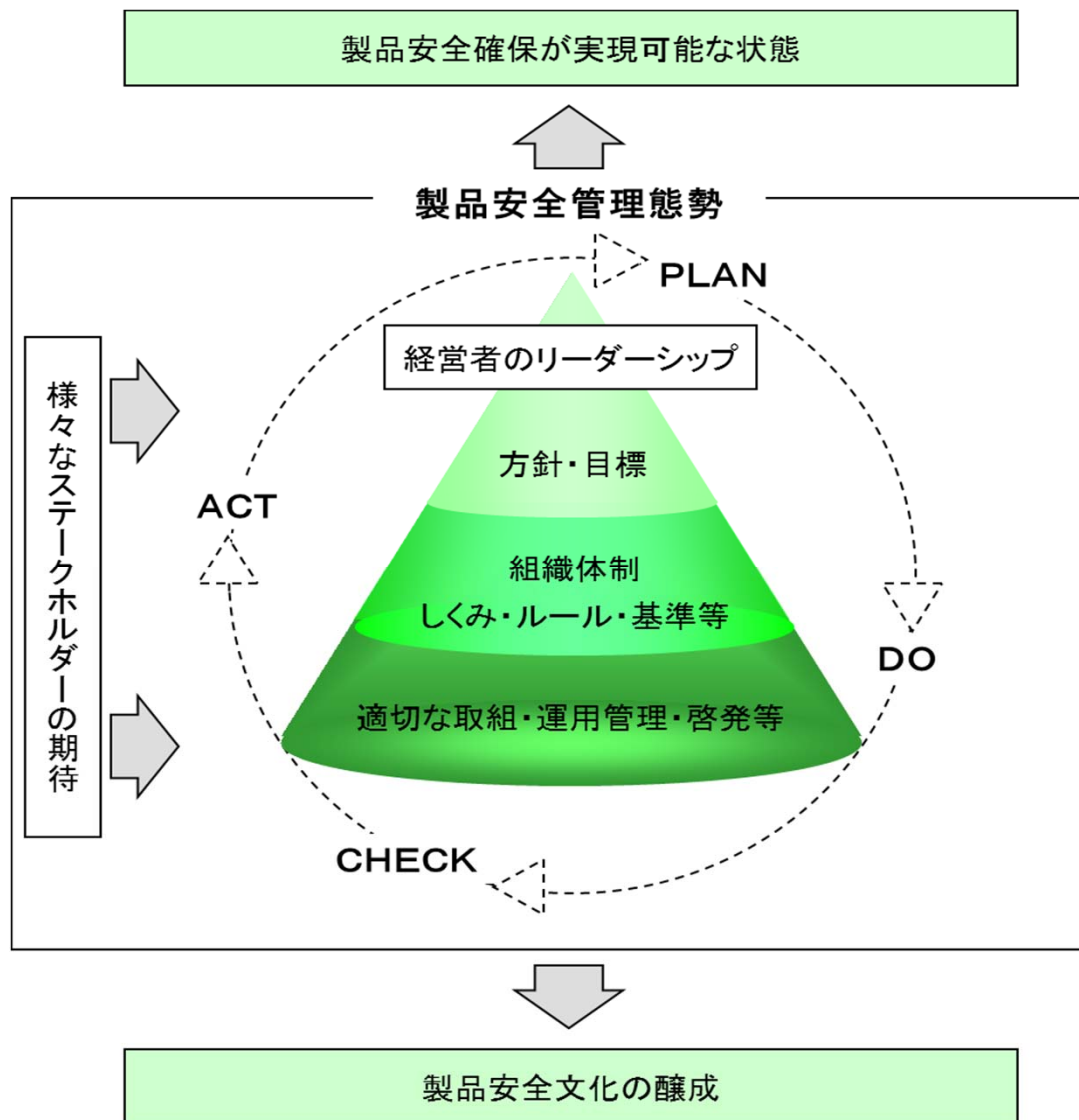
製品安全対策優良企業表彰とは

経済産業省が、企業や団体の、製品安全への優れた取組を募集し、表彰する制度です。



「製品安全文化」の定着を図り、製品安全が持続的に向上していく社会づくりをめざしています

求められる姿



「製品安全に関する事業者ハンドブック」(経済産業省)より抜粋

審査における考え方

- ・ 製品自体の安全性については評価しません。
- ・ 製品安全活動について評価します。

- ・ 製品安全を確保するための体制を審査するとともに、特に優れた取り組みに重点を置いて評価します。
- ・ 社内の体制（仕組み・ルール）のもとで、実際に行われている取り組みを重要視します。
- ・ 過去の製品事故やリコールなどの有無は問いません。むしろ、積極的なリコールやリコール回収率を高める取り組みなどを評価します。事故やトラブルの経験を糧に、どのように取り組みを改善したか、どのように体制を整備しているかなどを確認します。

第10回（平成28年度） 受賞企業・団体

大企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞

- パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

商務流通保安審議官賞

- 三協立山株式会社 三協アルミ社

優良賞

- ダイキン工業株式会社
- 株式会社ワコール

大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞

- 株式会社ニトリホールディングス

優良賞

- 株式会社カインズ

中小企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞

- 京都機械工具株式会社

商務流通保安審議官賞

- 三陽金属株式会社
- 有限会社鈴文

優良賞

- エビス株式会社

中小企業 小売販売事業者部門

商務流通保安審議官賞

- 株式会社大一電化社
- 株式会社ダイワ

特別賞

- ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ株式会社
- 株式会社友和

受賞のメリット

優れた製品安全対策を実施している企業・団体としてのPRにつながります

表彰結果はホームページや広報リーフレットなどを通じ、広く発表されます。受賞の実績は対外的なPRにつながります。

提供する製品・サービスの安全性への信用と企業価値を高めます

製品安全の専門家、有識者による厳格な審査を経て表彰されることで、提供サービスの信用がさらに高まります。

ビジネスチャンスが拡大します

表彰式や受賞企業講演会などで、あなたのビジネスが注目される機会が増えます。また異業種交流の機会が増え、ビジネスチャンスも広がります。

営業力の
強化！

新聞や市役所
から取材！

担当部門の
自覚と自信に！

2. 審査の概要

① 賞の構成、審査の流れ

募集部門・表彰内容・応募対象

部門	表彰内容	応募対象
大企業 製造事業者・輸入事業者部門	経済産業大臣賞 商務流通保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	「消費生活用製品※」の 製造事業 または 輸入事業を行う者
中小企業 製造事業者・輸入事業者部門	経済産業大臣賞 商務流通保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	
大企業 小売販売事業者部門	経済産業大臣賞 商務流通保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	「消費生活用製品※」の 小売販売事業を行う者
中小企業 小売販売事業者部門	経済産業大臣賞 商務流通保安審議官賞 優良賞（審査委員会賞）	
上記以外の団体・企業部門	特別賞（審査委員会賞）	上記以外の「消費生活用製品※」 に関連した事業を行う団体または企業
	特別賞（審査委員会賞）	

※「消費生活用製品」とは、主として一般消費者の生活の用に供される製品をいいます。（消費生活用製品安全法第2条）

審査の流れ

一次審査（書類審査）・・・・・・・・・・・・・・7月下旬～8月上旬



書類審査を行い、二次審査進出企業を選出します。

二次審査（プレゼンテーション審査、現地調査等）・・9月上旬～10月中旬



二次審査進出企業によるプレゼンテーション審査を行います。
なお、必要に応じて追加のヒアリングや現地調査を実施する場合があります。

受賞企業の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11月上旬



受賞企業および公表内容については、経済産業省のホームページ等で発表します。

表彰式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11月16日（木）

2. 審査の概要

② 審査基準等

審査基準：一次審査、二次審査の評価方法

1. 応募シートに示した**4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）に関する取組が**総合的に優れている企業・団体**
2. 応募シートに示した**4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）**いずれかにおいて卓越した取組を行っている企業・団体**

取組の先進性、積極性、意欲性等の観点で優れた企業・団体を選出します。

審査基準

< 4つの視点 >

製造事業者・輸入事業者部門
小売販売事業者部門

視点1

安全な製品を
製造・輸入（仕入・販売）
するための取組

視点2

製品を安全に
使用してもらうための取組

視点3

出荷後に安全上の問題が
判明した際の取組

視点4

製品安全
文化構築への取組

※ 平成26年4月1日から審査時点までの約3年間の製品安全に対する取組を
評価対象期間とします。

審査基準
〈2つの視点〉

特別賞

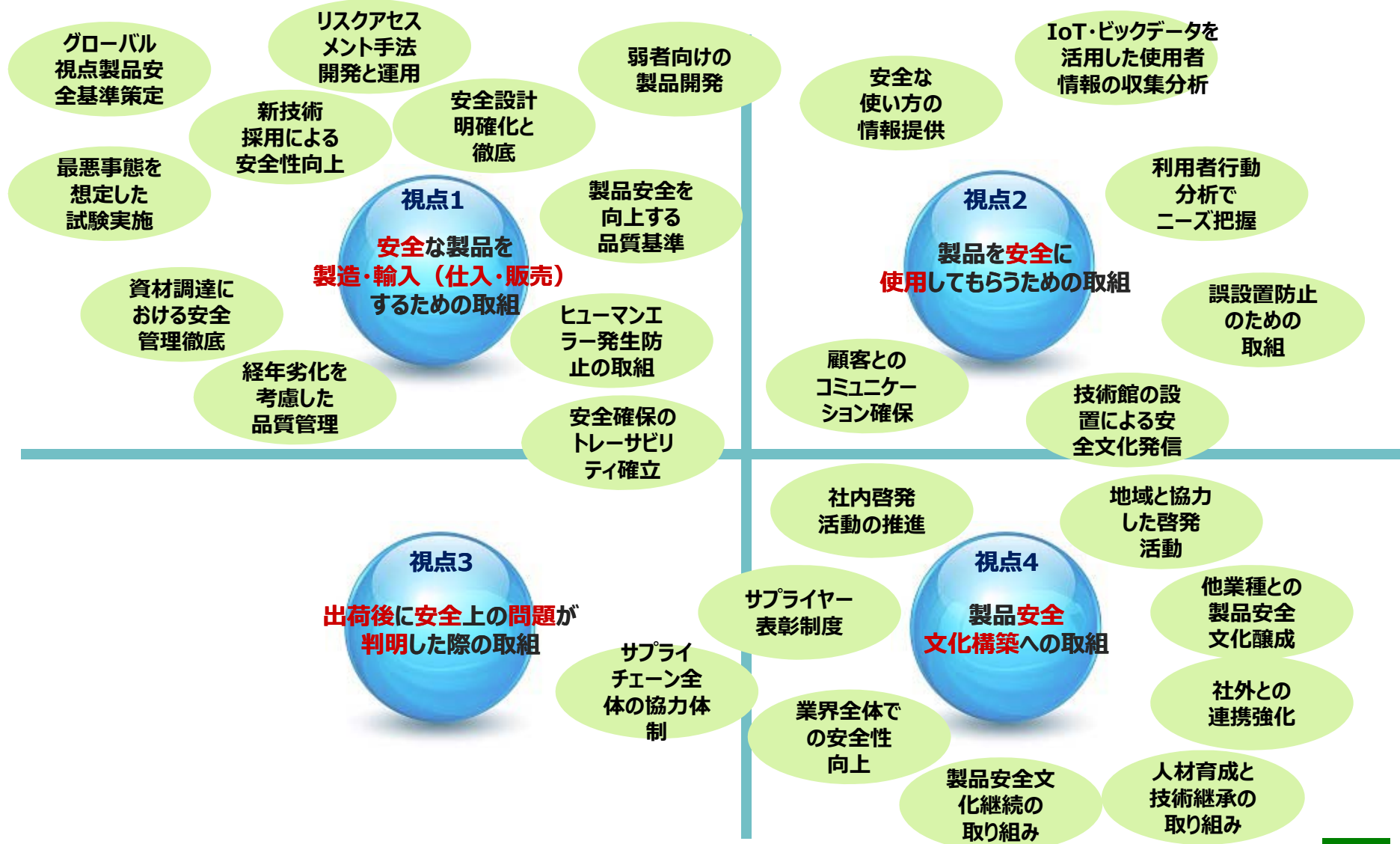
視点1

製品の安全を
確保・支援するための取組

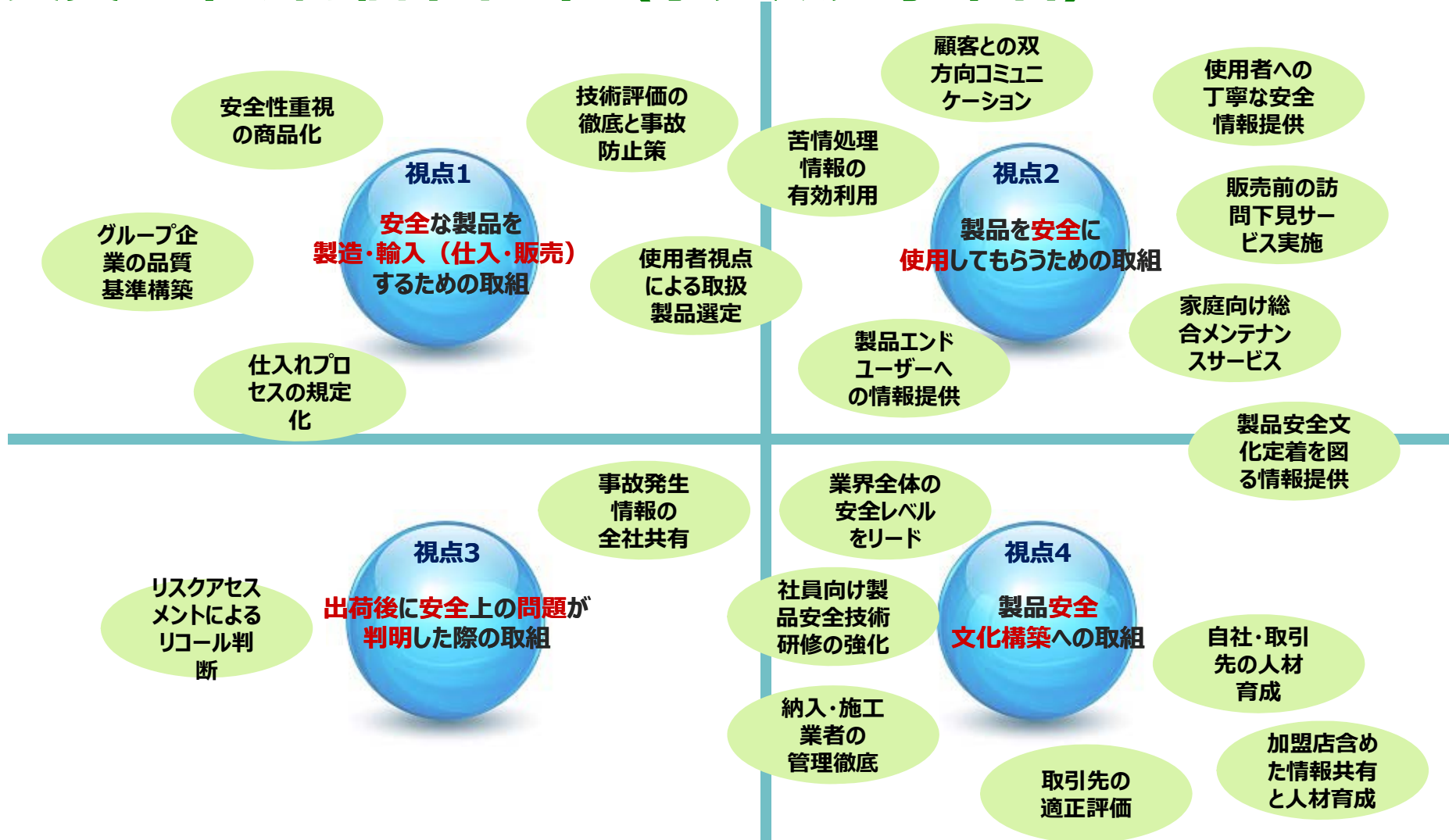
視点2

製品安全文化構築への取組

受賞企業の評価ポイント (製造・輸入事業者)



受賞企業の評価ポイント (小売販売事業者)



2. 審査の概要

③ 一次審査について

一次審査について

- 「応募資料記載要領」を参考に、「応募者概要シート【共通】」、「応募シート（部門別）」を作成してください。
- 「応募シート（部門別）」に示した**視点1～視点4の内容**について、**審査の観点例**を参考にしながら記入・提出してください。
- 特にアピールしたい取組に関する資料を**任意**で提出可能です。
（二次審査で使用することを想定したプレゼンテーション資料等を提出されても結構です。）

<注意点>

- ・社外秘及び個人情報の取扱いに注意を要する補足資料には、当該資料にはっきりと明示してください。

2. 審査の概要

④ 二次審査について

二次審査：プレゼンテーション審査

- 二次審査進出企業によるプレゼンテーション審査を行います。特にアピールしたい取組、活動、仕組み、工夫点などについて、具体的な内容を交えてご発表ください。
- プレゼンテーション審査の時間：40分程度（質疑応答を含む）
- プレゼンテーション審査の内容は、審査基準の“4つの視点（特別賞は2つの視点）”に沿って構成してください。



二次審査(プレゼンテーション審査)の様子

中小企業の応募者様へ

ご要望に応じて、以下の対応を行います。

- プレゼンテーションの構成に関するアドバイスや、PCでの資料作成等を、事務局がサポートします。
- インターネット電話サービス等を利用した遠隔での審査を受け付けます。

プレゼンテーション審査後について

■ 必要に応じて

- 一次審査の「応募シート」の記述内容
- プレゼンテーション審査の内容

について、追加のヒアリングや現地調査を実施する場合があります。

※追加のヒアリングや現地調査を実施する場合は、日を改めて行います。

3. 応募・受賞のメリット等

応募・審査を受けた企業の声

- 審査基準に従って実際の活動を整理することで、自社の製品安全活動を棚卸することができた。またそれにより、強み、弱みを明確にすることができ、次の活動に繋げることができた。
- 全社員の製品安全に対する意識の高揚と、製品安全確保に向けた仕組みの確立を推進する機会となった。
- 審査基準である「4つの視点」は、製品安全の取り組みとを体系的に整理できる。社内での取組の枠組みへの適用を考えている。
- 審査基準は、各部署でのPDCA実施の習慣づけに役立つ。
- 自社のビジネスモデルを、製品安全の視点で整理できた。
- 審査委員から製品安全の展開に向けて効果的なコメントをいただいた。

<参考> 審査委員

有識者、消費者団体代表等で構成する審査委員会において審査します。

【委員長】

三上 喜貴

長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター長

【委員】

新井 勝己

(独) 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長

加藤 義信

(独) 中小企業基盤整備機構 経営支援部 チーフアドバイザー

釘宮 悦子

(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 理事

信太 洋行

東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科 准教授

高橋 茂樹

元 国際標準規格 (I E C) W G 座長

長田 三紀

全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長

升田 純

升田純法律事務所 代表 弁護士

三浦 佳子

消費生活コンサルタント

八木澤 徹

(株) 日刊工業新聞社 編集局経済部 編集委員兼論説委員

吉田 勝

(株) 日経BP 日経ものづくり 副編集長

鷺田 祐一

一橋大学大学院 商学研究科 教授

渡部 利範

(株) テクノクオリティ 代表取締役

4. 質疑応答

第11回 製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）

皆様のご応募お待ちしております！

募集期間 2017年5月22日(月)～7月18日(火)

**その他、不明点なども
どうぞお気軽にお寄せください**

問い合わせ先

製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）事務局
（株）インターリスク総研 リスクマネジメント第三部
危機管理・コンプライアンスグループ

担当：佐藤、蛸子、松井
メールアドレス：ps_award2017@ms-ad-hd.com
電話：03-5296-8912